

平成22年度  
蒲郡市事務事業評価  
結果報告書

= 上下水道部水道課 =

平成22年度事務事業評価表		担当	上下水道部 水道課	内線等	2202
事務事業名	415	県営水道受水事業			
根拠法令等	水道法	事業開始年度 事業期間	通年		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)			
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	水資源		
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	水道水の供給。
対象(受益者) (誰・何を)	水道使用者。
目標 (目指す成果)	安定的な水道水の供給の確保を図る。
そのための 手段 (手法)	愛知県から購入。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
受水量(m <sup>3</sup> )	10,510,916	10,676,477	10,900,000
受水費(円)	787,620,341	774,715,366	781,004,280

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
m <sup>3</sup> 単価	目標			71.7	
	実績	74.9	72.6		年度
対前年 受水量率	目標			102.1	
	実績	99.2	101.6		年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

m <sup>3</sup> 単価	受水費/受水量
対前年受水量率	当年度受水量/前年度受水量 × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.33人	次長 課長級	0.20人	補佐級	0.10人	係長級	0.03人	一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	0.15人	次長 課長級	0.15人	補佐級		係長級		一般職		非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	787,621	774,716	781,005
	人件費	3,114	1,416	
	合計	790,735	776,132	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	790,735	776,132	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	水道事業の根幹である事業である。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	愛知県が使用水量単価等を決定しているため、コスト縮減の余地が少ない。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	水道水は、なくてはならないものであり最重要事業である。

改善点、問題点等

目標達成に 向けた課題、 問題点	最大配水量/日を制限し、承認基本給水量を下げる。
今後の 改善内容、計画 (時期も含め 具体的に)	愛知県企業庁に承認基本給水量の決定方法の見直しをお願いする。また、節水時での受水量確保を図る。

平成22年度事務事業評価表		担当	上下水道部 水道課	内線等	2202
事務事業名	416	受付・収納等総合業務委託事業			
根拠法令等	地方公営企業法施行令	事業開始年度 事業期間	平成18年度		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)					
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	水資源		
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	受付・収納等総合業務を円滑に行う。
対象(受益者) (誰・何を)	受付・収納等総合業務。
目標 (目指す成果)	受付・収納等総合業務を円滑に行う。
そのための 手段 (手法)	民間業者に委託。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
業務従事者数 (人)	21	21	21
総合業務委託料 (円)	59,941,350	62,748,000	62,748,000
営業費用 (円)	1,670,944,067	1,593,545,918	1,674,706,000

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
業務従事者一人 当たりの委託料	目標			2,988,000	
	実績	2,854,350	2,988,000		年度
営業費用に対する 業務委託料	目標			3.7	
	実績	3.6	3.9		年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

業務従事者一人 当たりの委託料	総合業務委託料/業務従事者数
営業費用に対する 業務委託料	(総合業務委託料/営業費用) × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	1.00人	次長 課長級	0.15人	補佐級	0.15人	係長級	0.55人	一般職	0.15人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.80人	次長 課長級	0.30人	補佐級		係長級	0.50人	一般職		非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	59,942	62,748	62,748
	人件費	8,049	6,747	
	合計	67,991	69,495	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	67,991	69,495	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	経営基盤を強化するためには、必要な事業である。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	人件費の削減が図られている。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	今後も委託できる事業があれば委託していく。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	現在、漏水待機業務委託の範囲は、連絡調整のみ委託しているが、将来は、漏水修理まで委託したい。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	委託できる業務であれば、民間業者に委託する。

平成22年度事務事業評価表		担当	上下水道部 水道課	内線等	2202
事務事業名	417	湯水に強いまちづくり事業			
根拠法令等	蒲都市雨水利用簡易貯留槽購入費助成金交付要綱	事業開始年度 事業期間	平成9年度		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)			
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	水資源		
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	節水と節水意識の啓発を図る。
対象(受益者) (誰・何を)	本市に住所を有する個人・法人
目標 (目指す成果)	節水と節水意識の啓発を図る。
そのための 手段 (手法)	雨水簡易貯留槽の購入に対する助成。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
助成件数(件)	8	5	10
助成金額(円)	93,700	59,000	140,000

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
助成件数率	目標			100.0	
	実績	80.0	50.0		年度
助成金額率	目標			100.0	
	実績	66.9	42.1		年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

助成件数率	助成件数 / 予定助成件数 (10) × 100
助成金額率	助成金額 / 予定助成金額 (14,000) × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.11人	次長 課長級	0.03人	補佐級	0.03人	係長級		一般職	0.05人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.15人	次長 課長級	0.10人	補佐級		係長級	0.05人	一般職		非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	94	59	140
	人件費	843	1,336	
	合計	937	1,395	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	937	1,395	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	湧水に見舞われる本市にとって、必要な事業である。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	節水意識の浸透で、平成20年度以降助成件数は増加している。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	湧水対策として必要な事業である。

改善点、問題点等

目標達成に 向けた課題、 問題点	市がやるべき事業であるが、企業会計ではなく一般会計でやる事業。
今後の 改善内容、計画 (時期も含め 具体的に)	具体的には、安全安心課が予算を持ち、執行すべき事業。

平成22年度事務事業評価表		担当	上下水道部 水道課	内線等	2202
事務事業名	418	水道メーター入札事業			
根拠法令等	蒲郡市契約規則		事業開始年度 事業期間	通年	
総合計画、市長マニフェストでの位置付け			(該当しない事業については記入不要です。)		
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり		施策名	水資源	
基本目標、施策に対する貢献度		3点 施策の達成に非常に効果があった			
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	低価格で購入をする。
対象(受益者) (誰・何を)	水道メーターのたな卸資産。
目標 (目指す成果)	低価格で購入をする。
そのための 手段 (手法)	適正な入札執行による購入。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
量水器購入数	3,361	3,248	4,532
棚卸資産購入 限度額	4,712,798	4,966,804	21,100,000

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
量水器の購入単価	目標			4,656	
	実績	1,402	1,529		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

量水器の購入単価	量水器購入数 / 棚卸資産購入限度額



事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.20人	次長 課長級	0.05人	補佐級	0.05人	係長級	0.05人	一般職	0.05人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.25人	次長 課長級	0.10人	補佐級		係長級	0.15人	一般職		非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	4,713	4,967	21,100
	人件費	1,621	2,119	
	合計	6,334	7,086	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	6,334	7,086	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	量水器の購入(入札)は必要不可欠である。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	1年分を年間契約しているため、低価格で購入できる。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	単価契約入札により、費用の減少が可能となる。

改善点、問題点等

目標達成に 向けた課題、 問題点	委託者・受託者両者で水道メーター管理を徹底する。
今後の 改善内容、計画 (時期も含め 具体的に)	他市町の落札単価を参考にし、予定価格を決定する。

平成22年度事務事業評価表		担当	上下水道部 水道課	内線等	2202
事務事業名	419	広報活動推進事業			
根拠法令等		事業開始年度 事業期間	通年		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)			
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	水資源		
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	水道事業の周知を図る。
対象(受益者) (誰・何を)	水道使用者。
目標 (目指す成果)	水道事業の周知を図る。
そのための 手段 (手法)	ホームページ等を通じて情報提供する。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
ホームページ	年8回更新	年10回更新	年12回更新

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
ホームページ 更新回数	目標			12回	
	実績	8回	10回		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明


事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.12人	次長 課長級	0.03人	補佐級	0.03人	係長級	0.03人	一般職	0.03人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.20人	次長 課長級	0.10人	補佐級		係長級	0.10人	一般職		非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	0	0	0
	人件費	972	1,727	
	合計	972	1,727	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	972	1,727	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	節水意識の向上、水の大切さを理解してもらう上では、必要不可欠である。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	事業費は不要のため、効果は出ている。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	節水意識の向上、水の大切さを理解してもらう上では、必要不可欠である。

改善点、問題点等

目標達成に 向けた課題、 問題点	直飲率の向上、水道水の需要の向上のために周知が必要。
今後の 改善内容、計画 (時期も含め 具体的に)	一方的な情報提供だけでなく、アンケート(直飲率)やモニター制度も導入したい。

平成22年度事務事業評価表		担当	上下水道部 水道課	内線等	2202
事務事業名	420	水道会計経理事業			
根拠法令等	地方公営企業法	事業開始年度 事業期間	通年		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)			
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	水資源		
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	人件費の削減。
対象(受益者) (誰・何を)	会計処理。
目標 (目指す成果)	人件費の削減。
そのための 手段 (手法)	会計システムを使用し、迅速かつ正確な事務処理を行う。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
システム運用経費	1,975,680	504,000	504,000
総係費	27,811,142	25,672,288	26,347,000

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
総係費に占める割合	目標			1.9	
	実績	7.1	2.0		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

総係費に占める割合	システム運用経費/総係費(退職給与金を除く)×100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	2.30人	次長 課長級	0.66人	補佐級	0.66人	係長級	0.32人	一般職	0.66人	非常勤		再任用	
H22 人工計	1.75人	次長 課長級	0.60人	補佐級		係長級	1.15人	一般職		非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	1,976	504	504
	人件費	18,683	14,668	
	合計	20,659	15,172	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	20,659	15,172	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	事務処理の迅速性、操作の簡易性など、適正な運用が必要である。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	効率良い事務処理が出来ている。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	会計システムは、導入により人件費削減につながった。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	今後、会計システムの更新を考える必要がある。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	更新計画の策定が必要。

平成22年度事務事業評価表		担当	上下水道部 水道課	内線等	2202
事務事業名	421	資金運用事務事業			
根拠法令等	地方公営企業法	事業開始年度 事業期間	通年		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)			
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	水資源		
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	収益増を図る。
対象(受益者) (誰・何を)	歳計現金。
目標 (目指す成果)	経営の安定を図る。
そのための 手段 (手法)	効率的な資金運用。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
受取利息	1,111,650	1,107,682	1,000,000
営業外収益	8,986,556	7,043,381	5,278,000

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
受取利息	目標			1,000,000	
	実績	1,111,650	1,107,682		年度
営業外収益に 対する割合	目標			18.9	
	実績	12.4	15.7		年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

受取利息	
営業収益外に 対する割合	受取利息/営業外収益(他会計負担金は除く)

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.14人	次長 課長級	0.03人	補佐級	0.03人	係長級	0.05人	一般職	0.03人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.15人	次長 課長級	0.10人	補佐級		係長級	0.05人	一般職		非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	0	0	0
	人件費	1,132	1,336	
	合計	1,132	1,336	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	1,132	1,336	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	効率的に資金運用し、収益を得る。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	事務量に見合った効果はある。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	利息の変動に影響されるが、効率的な運用は出来ている。

改善点、問題点等

目標達成に 向けた課題、 問題点	
今後の 改善内容、計画 (時期も含め 具体的に)	

平成22年度事務事業評価表		担当	上下水道部 水道課	内線等	2202
事務事業名	422	漏水防止対策事業			
根拠法令等		事業開始年度 事業期間	通年		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)			
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり		施策名	水資源	
基本目標、施策に対する貢献度		3点 施策の達成に非常に効果があった			
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	漏水箇所の早期発見。
対象(受益者) (誰・何を)	送・配水管及び給水管。
目標 (目指す成果)	有収率(給水量/配水量)の向上を図る。
そのための 手段 (手法)	漏水箇所を早期発見し、修繕する。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
漏水調査戸数	5,115	5,994	8,000
漏水発見箇所数	31	17	20
漏水調査委託料	4,410,000	4,758,600	6,000,000

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
漏水発見率	目標			0.25	
	実績	0.61	0.28		年度
漏水調査1件当りの単価	目標			750	
	実績	862	794		年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

漏水発見率	漏水発見箇所/漏水調査戸数 × 100
漏水調査1件当りの単価	漏水調査委託料/漏水調査戸数



事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.45人	次長 課長級	0.05人	補佐級	0.15人	係長級		一般職	0.25人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.45人	次長 課長級	0.15人	補佐級	0.05人	係長級		一般職	0.25人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	4,410	4,759	6,000
	人件費	3,236	3,190	
	合計	7,646	7,949	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	7,646	7,949	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	有収率の向上のため、必要な事業である。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	市内を5地区に分けて調査しているため、早期発見できない場合があるが、市民からの通報もある。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	有収率の向上のために必要な事業であり、漏水の原因となる老朽管の更新を実施していく。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	5ヶ年で市内全域をカバーしているため、漏水カ所の発見が遅くなる。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	計画に基づいた老朽管の布設替が必要になる。

平成22年度事務事業評価表		担当	上下水道部 水道課	内線等	2202
事務事業名	423	配水管維持管理事業			
根拠法令等		事業開始年度 事業期間	通年		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)			
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	水資源		
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	安定的な水道水の供給。
対象(受益者) (誰・何を)	送・配水管。
目標 (目指す成果)	安定的な水道水の供給。
そのための 手段 (手法)	施設を維持管理。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
修繕件数	18	19	20
修繕費	4,819,000	12,122,000	6,000,000

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
修繕1件当りの単価	目標			300,000	
	実績	267,722	638,000		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

修繕1件当りの単価	修繕費/修繕箇所

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	1.10人	次長 課長級	0.05人	補佐級	0.15人	係長級		一般職	0.90人	非常勤		再任用	
H22 人工計	1.10人	次長 課長級	0.10人	補佐級	0.15人	係長級	0.10人	一般職	0.75人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	4,819	12,122	6,000
	人件費	6,789	7,047	
	合計	11,608	19,169	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	11,608	19,169	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	有収率の向上のため、必要な事業である。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	維持修理することにより、コスト縮減が図られる。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	施設維持のためには重要事業である。

改善点、問題点等

目標達成に 向けた課題、 問題点	自然発生的な事故に対応するため、年度により事業規模の大小が発生する。
今後の 改善内容、計画 (時期も含め 具体的に)	計画的な老朽管の更新が必要。

平成22年度事務事業評価表		担当	上下水道部 水道課	内線等	2202
事務事業名	424	配水場維持管理事業			
根拠法令等		事業開始年度 事業期間	通年		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)			
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	水資源		
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	水道水の安定供給を図る。
対象(受益者) (誰・何を)	配水場。
目標 (目指す成果)	水道水の安定供給を図る。
そのための 手段 (手法)	施設を維持管理。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
配水場維持管理費	82,277,000	47,518,000	54,904,000
配給水費	177,472,543	139,999,584	162,737,000

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
配給水費に 占める割合	目標			33.74	
	実績	46.4	33.94		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

配給水費に 占める割合	配水場維持管理費/配給水費 × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	2.30人	次長 課長級	0.05人	補佐級	0.30人	係長級		一般職	1.95人	非常勤		再任用	
H22 人工計	2.30人	次長 課長級	0.05人	補佐級	0.30人	係長級	0.30人	一般職	1.65人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	82,277	47,518	54,904
	人件費	13,909	14,257	
	合計	96,186	61,775	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	96,186	61,775	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	水道事業者として、安定供給に必要不可欠な事業である。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	施設点検により、不具合を早期発見できる。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	老朽化が進み、更新計画を立て維持管理していく。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	施設延命のため落雷対策・耐震対策の見直しが必要。劣化防止対策が必要。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	全体的に施設が更新時期に来ているため、延命・更新計画の作成が必要となる。

平成22年度事務事業評価表		担当	上下水道部 水道課	内線等	2202
事務事業名	425	給水管理事業			
根拠法令等		事業開始年度 事業期間	通年		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)			
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	水資源		
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	給水を開始する。
対象(受益者) (誰・何を)	給水申込者からの申請依頼を受ける。
目標 (目指す成果)	給水を開始する。
そのための 手段 (手法)	申請書を設計審査、完了検査をする。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
申請件数	674	559	700

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
申請件数	目標			700	
	実績	674	559		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

申請件数	

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.70人	次長 課長級	0.10人	補佐級	0.50人	係長級		一般職	0.10人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.65人	次長 課長級	0.05人	補佐級	0.50人	係長級		一般職	0.10人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	21	21	30
	人件費	6,127	5,464	
	合計	6,148	5,485	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	6,148	5,485	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	水道供給のために必要な事業である。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	経費はほぼ人件費だけである。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	水道供給のために必要な事業である。

改善点、問題点等

目標達成に 向けた課題、 問題点	給水台帳の速やかなシステムへ反映するための移行。
今後の 改善内容、計画 (時期も含め 具体的に)	現場端末機での情報提供。

平成22年度事務事業評価表		担当	上下水道部 水道課	内線等	2202
事務事業名	426	検満メーター取替事業			
根拠法令等		事業開始年度 事業期間	通年		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)			
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	水資源		
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	正確な検針。
対象(受益者) (誰・何を)	計量法により8年ごとに取替えるメーター。
目標 (目指す成果)	正確な検針。
そのための 手段 (手法)	メーター交換。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
検満取替個数	3,107	3,393	4,020

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
検満取替個数	目標			4,020	
	実績	3,107	3,393		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

兼満取替個数	



事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	1.75人	次長 課長級		補佐級		係長級		一般職	1.75人	非常勤		再任用	
H22 人工計	1.75人	次長 課長級		補佐級		係長級		一般職	1.75人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	0	0	0
	人件費	9,566	9,291	
	合計	9,566	9,291	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	9,566	9,291	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	計量法による交換である。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	人件費のみである。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	計量法による交換である。

改善点、問題点等

目標達成に 向けた課題、 問題点	職員の減員により、事業達成が出来なくなる可能性がある。
今後の 改善内容、計画 (時期も含め 具体的に)	事業委託を含めた検討が必要となってくる。

平成22年度事務事業評価表		担当	上下水道部 水道課	内線等	2202
事務事業名	427	給水管維持修繕事業			
根拠法令等		事業開始年度 事業期間	通年		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)			
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	水資源		
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	水道水の安定供給。
対象(受益者) (誰・何を)	給水装置。
目標 (目指す成果)	水道水の安定供給。
そのための 手段 (手法)	維持管理。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
修繕件数	53	54	50
修繕費	10,954,000	12,145,000	12,000,000

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
修繕1件当りの単価	目標			240,000	
	実績	206,679	224,907		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

修繕1件当りの単価	修繕費/修繕箇所

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	1.50人	次長 課長級	0.05人	補佐級	0.30人	係長級		一般職	1.15人	非常勤		再任用	
H22 人工計	1.50人	次長 課長級	0.05人	補佐級	0.30人	係長級		一般職	1.15人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	10,954	12,145	12,000
	人件費	9,536	9,254	
	合計	20,490	21,399	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	20,490	21,399	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	水道水の安定供給には必要不可欠な事業である。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	維持修理することにより、コスト縮減が図られる。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	水道水の安定供給には必要不可欠な事業である。

改善点、問題点等

目標達成に 向けた課題、 問題点	漏水防止対策事業と連携を図っていく。
今後の 改善内容、計画 (時期も含め 具体的に)	計画的な老朽管の更新が必要。

平成22年度事務事業評価表		担当	上下水道部 水道課	内線等	2202
事務事業名	428	水質管理事業			
根拠法令等	水道法	事業開始年度 事業期間	通年		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)			
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	水資源		
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	衛生的で安全な水道水を供給する。
対象(受益者) (誰・何を)	水道水。
目標 (目指す成果)	衛生的で安全な水道水を供給する。
そのための 手段 (手法)	水質検査の実施。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
水質維持管理費	5,308,000	5,215,000	7,496,000
原浄水費	818,869,048	806,095,567	816,498,000

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
原浄水費に占める割合	目標			0.92	
	実績	0.65	0.65		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

原浄水費に占める割合	水質維持管理費/原浄水費 × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.95人	次長 課長級	0.10人	補佐級	0.10人	係長級		一般職	0.75人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.90人	次長 課長級	0.05人	補佐級	0.10人	係長級	0.30人	一般職	0.45人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	5,308	5,215	7,496
	人件費	5,997	6,102	
	合計	11,305	11,317	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	11,305	11,317	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	水道法で定められている。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	土、日、休日は、業者委託している。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	安全でおいしい水道水を供給するため、必要不可欠な事業である。

改善点、問題点等

目標達成に 向けた課題、 問題点	需要に見合った管網の再構築。
今後の 改善内容、計画 (時期も含め 具体的に)	水質管理システムの構築。

平成22年度事務事業評価表		担当	上下水道部 水道課	内線等	2202
事務事業名	429	送配水管整備事業（単独）			
根拠法令等		事業開始年度 事業期間	通年		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		（該当しない事業については記入不要です。）			
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	水資源		
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 （何のために）	水道水の安定供給を図る。
対象(受益者) （誰・何を）	送・配水管。
目標 （目指す成果）	水道水の安定供給を図る。
そのための 手段 （手法）	布設、布設替。

事業実績（事業の概要）

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
事業費	250,082,700	182,919,450	186,000,000
延長 （m）	5,443	2,134	1,670
管路全体延長 （m）	616,797	619,897	622,897

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
m当りの単価	目標			111,377	
	実績	45,946	85,717		年度
更新率	目標			0.27	
	実績	0.88	0.34		年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

m当りの単価	事業費/延長（m）
更新率	管路全体延長/延長（m）

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	1.20人	次長 課長級	0.10人	補佐級	0.20人	係長級		一般職	0.90人	非常勤		再任用	
H22 人工計	1.15人	次長 課長級	0.25人	補佐級		係長級		一般職	0.90人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	250,083	182,919	186,000
	人件費	7,738	7,139	
	合計	257,821	190,058	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	257,821	190,058	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	老朽管路の更新は必要な事業である。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	適正な予算執行が来ている。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	老朽管路の更新は必要な事業である。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	西部送水管・配水基幹管路の更新・耐震化を図っていくが、多額な事業費が必要となる。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	布設替計画を策定する。西部送水管は概ね10～15年で完了したい。

平成22年度事務事業評価表		担当	上下水道部 水道課	内線等	2202
事務事業名	430	配水管整備事業（他課関連）			
根拠法令等		事業開始年度 事業期間	通年		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		（該当しない事業については記入不要です。）			
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	水資源		
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 （何のために）	水道水の安定供給を図る。
対象(受益者) （誰・何を）	送・配水管。
目標 （目指す成果）	水道水の安定供給を図る。
そのための 手段 （手法）	布設、布設替。

事業実績（事業の概要）

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
事業費	47,955,600	47,839,050	206,800,000
延長 （m）	1,251	1,325	1,950
管路全体延長 （m）	616,797	619,897	622,897

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
m当りの単価	目標			106,051	
	実績	38,334	36,105		年度
更新率	目標			0.31	
	実績	0.20	0.21		年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

m当りの単価	事業費/延長（m）
更新率	管路全体延長/延長（m）



事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.85人	次長 課長級	0.10人	補佐級	0.15人	係長級		一般職	0.60人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.80人	次長 課長級	0.20人	補佐級		係長級		一般職	0.60人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	47,956	47,839	206,800
	人件費	5,638	5,074	
	合計	53,594	52,913	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	53,594	52,913	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	下水道課、区画整理課等の関連事業は、必要な事業である。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	適正な予算執行が来ている。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	下水道課、区画整理課等の関連事業は、必要な事業である。

改善点、問題点等

目標達成に 向けた課題、 問題点	他課及び愛知県などとの情報の伝達調整をする。多額な予算が必要となる。
今後の 改善内容、計画 (時期も含め 具体的に)	管路の更新計画と調整を図りながら事業を推進していく。

平成22年度事務事業評価表		担当	上下水道部 水道課	内線等	2202
事務事業名	431	配水管移設事業（他課負担）			
根拠法令等		事業開始年度 事業期間	通年		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		（該当しない事業については記入不要です。）			
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	水資源		
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 （何のために）	水道水の安定供給を図る。
対象(受益者) （誰・何を）	送・配水管。
目標 （目指す成果）	水道水の安定供給を図る。
そのための 手段 （手法）	布設、布設替。

事業実績（事業の概要）

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
事業費	87,358,950	77,613,900	92,400,000
延長 （m）	2,100	1,446	1,855
管路全体延長 （m）	616,797	619,897	622,897

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
m当りの単価	目標			49,811	
	実績	41,600	53,675		年度
更新率	目標			0.30	
	実績	0.34	0.23		年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

m当りの単価	事業費/延長（m）
更新率	管路全体延長/延長（m）

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	1.30人	次長 課長級	0.10人	補佐級	0.20人	係長級		一般職	1.00人	非常勤		再任用	
H22 人工計	1.25人	次長 課長級	0.25人	補佐級		係長級		一般職	1.00人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	87,359	77,614	92,400
	人件費	8,284	7,670	
	合計	95,643	85,284	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	95,643	85,284	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	下水道課、区画整理課等の負担事業は、必要な事業である。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	工事負担金(資本的収入)を請求している。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	下水道課、区画整理課等の負担事業は、必要な事業である。

改善点、問題点等

目標達成に 向けた課題、 問題点	他課及び愛知県などとの情報の伝達調整をする。
今後の 改善内容、計画 (時期も含め 具体的に)	管路の更新計画と調整を図りながら事業を推進していく。

平成22年度事務事業評価表		担当	上下水道部 水道課	内線等	2202
事務事業名	432	代用配水管事業			
根拠法令等		事業開始年度 事業期間	通年		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)			
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり		施策名	水資源	
基本目標、施策に対する貢献度		3点 施策の達成に非常に効果があった			
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	水道水の安定供給を図る。
対象(受益者) (誰・何を)	配水管。
目標 (目指す成果)	水道水の安定供給を図る。
そのための 手段 (手法)	配水管未施工箇所の給水希望者に配水管を設置。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
事業費	21,956,550	13,632,150	25,000,000
延長 (m)	1,208	746	1,500
管路全体延長 (m)	616,797	619,897	622,897

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
m当りの単価	目標			16,667	
	実績	18,176	18,274		年度
更新率	目標			0.24	
	実績	0.20	0.12		年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

m当りの単価	事業費/延長(m)
更新率	管路全体延長/延長(m)

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.80人	次長 課長級	0.05人	補佐級	0.15人	係長級		一般職	0.60人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.75人	次長 課長級	0.05人	補佐級	0.10人	係長級		一般職	0.60人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	21,957	13,632	25,000
	人件費	5,149	4,550	
	合計	27,106	18,182	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	27,106	18,182	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	給水希望者に対する配水管整備は、必要な事業である。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	職員による設計で、経費の節減を図っている。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	給水希望者に対する配水管整備は、必要な事業である。

改善点、問題点等

目標達成に 向けた課題、 問題点	配水管の未整備地区の解消を図る。
今後の 改善内容、計画 (時期も含め 具体的に)	管網整備の充実。

平成22年度事務事業評価表		担当	上下水道部 水道課	内線等	2202
事務事業名	433	配水場施設改良事業			
根拠法令等		事業開始年度 事業期間	通年		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)			
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり		施策名	水資源	
基本目標、施策に対する貢献度		3点 施策の達成に非常に効果があった			
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	水道水の安定供給を図る。
対象(受益者) (誰・何を)	配水場・ポンプ場施設。
目標 (目指す成果)	水道水の安定供給を図る。
そのための 手段 (手法)	改良事業を施工。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
事業費	257,943,000	95,107,950	101,100,000
工事請負費	665,296,800	417,122,500	611,300,000

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
工事請負費に 占める割合	目標			16.5	
	実績	38.8	22.8		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

工事請負費に 占める割合	事業費/工事請負費 × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.75人	次長 課長級	0.05人	補佐級	0.60人	係長級		一般職	0.10人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.75人	次長 課長級	0.25人	補佐級	0.40人	係長級	0.10人	一般職		非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	257,943	95,108	101,100
	人件費	6,558	6,712	
	合計	264,501	101,820	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	264,501	101,820	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	耐用年数を踏まえた施設更新は、必要な事業である。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	適正な予算執行が来ている。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	耐用年数を踏まえた施設更新は、必要な事業である。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	施設の延命化を図っていく。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	更新計画を作成し、予算要求していく。

平成22年度事務事業評価表		担当	上下水道部 水道課	内線等	2202
事務事業名	434	待機業務委託事業			
根拠法令等		事業開始年度 事業期間	通年		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)			
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	水資源		
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	水道水の安定供給を図る。
対象(受益者) (誰・何を)	漏水通報。
目標 (目指す成果)	水道水の安定供給を図る。
そのための 手段 (手法)	水道業者を待機させる。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
事業費	4,597,000	4,597,000	4,932,000
出動回数	53	54	60

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
1回当たりの単価	目標			82,200	
	実績	86,736	85,130		年度
出勤率	目標			16.4	
	実績	14.5	14.8		年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

1回当たりの単価	事業費/出動回数
出勤率	出動回数/365日×100



事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.15人	次長 課長級	0.05人	補佐級	0.10人	係長級		一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	0.20人	次長 課長級	0.10人	補佐級	0.10人	係長級		一般職		非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	4,597	4,597	4,932
	人件費	1,409	1,836	
	合計	6,006	6,433	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	6,006	6,433	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	24時間対応のためには、必要な事業である。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	待機業務は、出勤・不出勤にかかわらず委託料を計上している。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	24時間対応のためには、必要な事業である。

改善点、問題点等

目標達成に 向けた課題、 問題点	必要不可欠な事業である。更なる委託業務内容の精査。
今後の 改善内容、計画 (時期も含め 具体的に)	事故発生時の速やかな対応のための権限委譲。